

# 第70回山陽新聞賞贈呈式

第七十四(平成二十四年)山陽新聞賞贈呈式次第  
一、開  
二、経過報告



共済部門  
財団法人大木育英会

文化部門  
福山古文化財協会

文化功労  
菅波 茂

文化功労  
菅波 茂

産業功労  
赤岩 達重

文化功労  
西塚

社会功労  
衣笠 和哉

文化功労  
水戸岡 鋭治

文化功労  
難波 滋

文化功労  
小西 陶蔵

文化功労  
神崎 宣武

# 輝く地域への貢献

第70回山陽新聞賞の贈呈式が10日、岡山市北区駅元町のホテルグランヴィア岡山であり、文化功労4人、社会、学術、産業、国際功労各1人と、山陽新聞奨励賞は文化部門2団体、教育部門1団体の計8人、3団体が表彰された。

# 水戸岡氏ら8人3団体

## 「後進育成にも力発揮を」

賞50万円、山陽新聞奨励賞30万円)を手渡した。

越宗社長は「70回の節目にふさわしい方々を顕彰できる喜びをかみしめている。今後も

後進の育成に力を発揮してください」とあいさつ。石井知事も「受賞を機に各分野で一層研さんし、地域社会の発展に尽くして」と祝

福した。

受賞者を代表し、文化功労のデザイナー水戸岡鋭治さん(64)＝東京都板橋区、岡山市出身＝が「身に余る賞。これからも多くの人が集まる、安全で安心できる場をデザインしていきたい」と謝辞を述べた。

賞は岡山、広島県で地域社会の発展に貢献した個人・団体の功績をたたえ、山陽新聞社

受賞者と、来賓の石

井正弘岡山県知事、小

田幸伸県教育次長、高

谷茂男岡山市長、許南

浩岡山大副学長、江草

安彦旭川荘名管理事

長、大原謙一郎大原美

術館理事長、黒住宗晴

黒住教教主、川崎明德

川崎学園理事長が出席

した。

越宗孝昌山陽新聞社

社長が受賞者一人一人

に賞状と日本芸術院会

員蛭田二郎氏制作のメ

ダル、賞金(山陽新聞

が毎年贈っている。

水戸岡さんを除く受賞者は次の皆さん。(敬称略)

【文化功劳】民俗学者神崎宣武(67) 〓埼玉県朝霞市、井原市出身  
▽備前焼作家小西陶蔵(64) 〓備前市伊部▽洋画家難波滋(67) 〓倉敷市玉島

【社会功劳】独立行政法人・自動車事故対策機構岡山療護センター  
―長衣笠和孜(65) 〓岡

山市北区学南町

【学术功劳】岡山大大学院医歯薬学総合研究科教授西堀正洋(55)  
〓岡山市北区佐山

【産業功劳】メイト

会長赤岩達重(74) 〓岡山県和气町佐伯  
【国際功劳】A M D  
A 理事長菅波茂(65) 〓

岡山市北区大和町

【奨励賞・文化部門】  
岡山フィルハーモニック管弦楽団 〓岡山市北区表町▽福山市文化財

協会 〓福山市東桜町

【同・教育部門】財団法人大本育英会 〓岡山市北区内山下